

メインシナリオ／グランド第4回
『あなたのための希望のうた 第4話』 個別リアクション

『魔導兵器実験』

かつてのウォテュラ王国が行った魔導兵器の実験について、ジョージはとても苦々しい表情で話した。

彼にとって、思い出したくないできごとの一つなのだろう。

「大昔、王国はこの地に住む強い火の魔力を操る一族を陥れ、その力を奪った……。そして、その力を利用して恐ろしい魔導兵器をつくったのじゃ」

その兵器は強い威力持つだけに、完成までに長い年月がかかった。

「最初の実験にこぎつけたのが、二年前じゃ」

エリスとDrカーモネーギーは息を飲んだ。

二年前は、大洪水が世界を沈めた年だ。

「当時、王国に協力する形だった公王は、王国からその兵器の概要だけが知らされていた。設計図などは見せられてはおらん。……ま、当然じゃな」

今はマテオ・テーペと呼ばれているここは、その前はコーンウォリス公国の一部であった。

「概要だけでもその兵器の恐ろしさを感じた公王は、わしと伯爵と共に兵器の仮設計を試みたのじゃ。公王は若いながらも魔法具の技術に造詣が深かったでう。その結果、とんでもないことがわかった」

「世界の破滅ネギか」

ジョージはゆるゆると首を振る。

「そこまではな……。じゃが、もし実験に失敗すれば、低地にある公国が水没するだろうという予測は立った。……ま、結果はこの通りじゃ」

そんな、と声をこぼすエリス。

一国の欲望が世界を壊し、その国ももう存在しない。

「業の深い話じゃな」

ジョージは、実験を止められなかったことを悔いるように、重いため息を吐いた。

こちらのリアクションは以下のP Cに発行されています。

エリス・アップルトン

Drカーモネーギー